

雲北陵月報

No. 465

令和6年5月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

総体を前に各部が大奮闘!!

卓球部

男子団体 4年連続15回目の優勝 6連覇!
個人戦 シングルス・ダブルス共に制す!

第71回中国高等学校卓球選手権島根県予選大会
於 時 4月26~28日
益田市市民体育館

〈男子団体〉優勝

〈男子シングルス〉

優勝 小野泰和 (35北陵)

2位 大村 心 (22西谷)

3位 黒田昌秀 (35趣町)

肖 駿駿 (23雁)

〈男子ダブルス〉

優勝 小野泰和・黒田昌秀組

※県予選を突破したシングルス11名、ダブルス3組が県代表として中国大会に出場。

○大会総評

団体戦は出場した選手がそれぞれ持ち味を発揮し、15回目の優勝を果たすことができた。決して慢心することなく、5月の県高校総体でも完全優勝できるようにチーム一丸となって戦いたい。



団体戦優勝メンバー



シングルス優勝の小野泰和



ダブルス優勝の小野(右)・黒田組

第20回出雲市オープン卓球大会
於 時 4月21日
出雲市総合体育館

〈男子団体〉

優勝 出雲北陵A(小野・黒田・大村・肖)

〈男子シングルス〉

優勝 小野泰和 2位 黒田昌秀

3位 大村 心、肖 駿駿

○大会総評

団体戦は社会人チームを連破し、優勝することができた。県高校総体に向けてチームのムードは高まってきている。コンディションを整えて県総体に臨みたい。(顧問 古瀬泰之)

女子ソフトテニス部

県高校ソフトテニスシングルス大会
於 時 4月14日
浜山公園テニスコート

優勝 高野愛未 (24大)

3位 川角莉子 (35趣)

ベスト8 森山音羽 (35大)、水永花音 (35大)

岡本涼香 (35大)

○大会総評

優勝した高野は6月に行われるハイスクールジャパンカップ(北海道)への出場権を獲得した。今年度最初の公式戦を優勝で飾れたことはチームの流れとして大きい。上位大会での活躍を目指して引き続き精進していきたい。応援有難うございました。



シングルス優勝の高野愛未

島根県高等学校ソフトテニス中国大会予選
於 時 4月26~28日
松江運動公園

〈個人戦〉

優勝 川角莉子・栗原奈々 (25松)

3位 果瀬暖花・高野愛未

水永花音・岡本涼香

ベスト8 木村香夏 (33大)、森山音羽

杉谷 皐 (24大)、曾田珠凜亜 (13松)

〈団体戦〉優勝

「メンバー」水永花音・岡本涼香・川角莉子・栗原奈々・木村香夏・森山音羽・果瀬暖花・高野愛未

2回戦 本校 3-0 松江商業

3回戦 本校 2-0 出雲

準決勝 本校 2-0 松江西

決勝 本校 2-0 松江南

○大会好評

多くのペアが上位進出を果たし、個人・団体ともに優勝できた。個人戦で優勝した川角・栗原ペアは6月に行われるハイスクールジャパンカップ(北海道)の出場権を獲得した。今大会で確認できた課題として、それぞれ向き合い、それぞれが更に成長していきけるように精進していきたい。3日間応援・サポート有難うございました。



個人戦優勝の川角・栗原ペア

第31回全日本ソフトテニス選手権大会
於 時 5月18・19日
会津総合運動公園テニスコート

水永花音 1-4 東京代表選手

岡本涼香 0-4 日本学連代表選手

○大会好評

島根県代表として2名が出場した。全てのカテゴリの選手が出場する大会で貴重な経験となった。今後の活動に生かしていきたい。(顧問 金森 快)

男子ソフトテニス部

県高校ソフトテニスシングルス大会
於 時 4月14日
浜山公園テニスコート

ベスト16 伊藤 快 (34松)、三上瑛大 (15松)

島根県高等学校ソフトテニス中国大会予選
於 時 4月26~28日
松江市宮庭球場

〈個人戦〉6ペアがシールド権獲得

ベスト16 三島綾太 (12松)、高橋海璃 (33松)

山下柊人 (15松)、伊藤 快

田邊航汰 (31松)、板垣優吾 (34松)

川角光夢 (22松)、三上瑛大

高木映瑠 (14松)、岡田隆聖 (21松)

河野穂希 (13松)、金森剛士 (13松)

〈団体戦〉

「メンバー」伊藤快・高橋海璃・川角光夢・岡田隆聖・三上瑛大・山下柊人・高木映瑠・河野穂希

2回戦 本校 3-0 遼 摩

準々決勝 本校 2-0 出雲

準決勝 本校 0-2 松江工業

3位決定戦 本校 1-2 出雲工業

○大会好評

県総体のシールド権を決める大切な試合であったが、団体、個人とも悔しい結果となった。課題も多く見つかったので、総体までの残りの期間を大切に、しっかりと精進したい。(顧問 佐々木雄志)

テニス部

県高校個人テニス選手権大会出雲地区予選
於 時 4月13・14日
浜山・真幸ヶ丘公園

〈男子ダブルス〉

〈男子シングルス〉

〈女子シングルス〉

2回戦敗退

○大会総評

長子は昨年に続き1位となった。技術・戦術がアップし、県大会ではベスト8以上を目指したい。

男子はもっと上を目指して頑張りたい。

テニス部

県高校個人テニス選手権大会

時 4月27日
於 浜田・益田

〈男子ダブルス〉
1回戦敗退
〈男子シングルス〉
1回戦敗退
〈女子シングルス〉
ベスト16 長子七海

大会総評

男子にとって県大会の壁はまだ厚かったようである。格上の選手に勝つためにもっと努力しないといけないことを痛感したと思う。また女子は2年連続で個人戦のシード権を獲得した。ベスト8がけで第3シードの選手に敗れたが、テニスの内容は良く、今後自信を持って頑張りたい。

(顧問 石川剛巨)

陸上競技部

第78回出雲陸上競技大会

時 4月13・14日
於 浜山公園陸上競技場

片岡初優勝！県高校陸上に弾み

〈男子〉
片岡賢晴(32種) 棒高跳 優勝
河原栄太(36種) 500m 2位
足立康佑(34種) 走高跳 8位
〈女子〉
矢野有紗(32種) 6位
小堀志華(35種) 6位

第78回島根陸上競技選手権大会

時 5月4・5日
於 浜山公園陸上競技場

中国選手権出場権獲得(2年連続)

河原栄太 3000m s c 4位

大会総評

昨年に続き多くの選手が自己記録を更新した。また、片岡の優勝をはじめ、6名が入賞した。

県高校陸上大会では、新入生の8名とともに一つでも上へいけるように頑張りたい。

(顧問 別所美喜子)

野球部

島根県春季高等学校野球大会

時 4月19日
於 県立浜山公園野球場

本 0000200000
出雲商業 100040111x 8

大会総評

選手達は冬場に培った練習の成果を思うように発揮することができなかった。課題の多い大会となったが、夏の飛躍に向け様々な点を見直すことができた。攻撃面では、主将の足立侑弥(33種)が4安打を放ち、最後まで諦めない姿勢を見せた大会となった。当日は多くの方々に球場に足を運んでいただきました。応援有難うございました。

(顧問 畑 宗一郎)

吹奏楽部

第28回吹奏楽部定期演奏会

時 5月11日
昼の部…14時開演
夜の部…18時30分開演



於 出雲市民会館大ホール
28回目となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。新体制となつて初めての本番であったが、生徒達はこの一ヶ月間よく努力し、最大限の準備をして本番を迎えた。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1300名を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となるコンサートとなった。

スペシャルゲストには、ファゴット奏者の西牧岳氏をお招きした。観客を魅了する美しい音色と卓越した技術、色彩豊かな音楽表現に観客は大いに盛り上がり、共演をした部員達にとっても大変貴重な経験となった。

この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の皆様をはじめ、多くの方々の支えがあつてのことであり、部員一同感謝するとともに、今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していきたい。

(顧問 竹内康真)

卓球部

出雲市長表敬訪問

時 5月10日
於 出雲市役所



森本恭一教頭、卓球部の古瀬泰之監督、卓球部主将の小野泰和、黒田昌秀が出雲市役所を訪問し、飯塚俊之市長に全国高等学校選抜卓球大会での団体優勝を報告した。小野泰和主将は「チーム一丸となつて全国優勝を果たすことができた。今後は厳しい県予選を勝ち抜き、インターハイでも優勝を目指したい」と今後の抱負を述べ、飯塚市長からは「春夏連覇を目指して欲しい。両選手には日本を代表する選手に成長してもらいたい」というエールをいただいた。

教職員奉仕作業実施

4月30日、5月7日の放課後に教職員奉仕作業を実施し、校地内及び校外周囲の溝掃除や道路脇の除草作業などを行った。両日とも短時間の作業であったが、全員が安全で気持ちの良い環境づくりに励んだ。



一斉書写

時 4月16日
於 本校体育館

新年度スタートの恒例行事である「一斉書写」を実施した。緊張感ある雰囲気の中、集中力を養い、授業に臨む心構えを整えることができた。新入生もしっかりと取り組み、貴重な時間を過ごした。

春季野外活動

時 4月17日
於 県立浜山公園

本校恒例の春季野外活動を行い、中学

生・高校生・教員が一緒になつて浜山公園まで出かけた。当日は天候にも恵まれ、新緑の北山を臨みながら友達とゴールを目指した。
中学・高校の一年生にとつては初めての経験で大変さを感じた人もいたようだが、それ以上に達成感、充実感を感じたのではないかとと思う。
この体験を今後の学校生活に生かして頑張りたい。



高校生徒総会開催

時 5月9日
於 本校体育館



今年度の生徒総会は久しぶりに全校生徒が体育館に集まり、対面での実施となった。村中生徒会長のもと、生徒会執行部並びに専門部から今年度の活動について提案があり、慎重に審議された。今年度のスローガンは「一瞬を一生に」である。本校は今年創立115周年という節目の年となり、学園祭においては、北陵まつりが開催される。地域の方との時間を大切に、全校生徒が楽しめるイベントにして欲しい。そして活気ある生徒会になるよう、全員が協力して盛り上げてくれることを期待している。

お知らせ

「飯塚康弘展」開催

時 5月25～6月30日
於 出雲文化伝承館

飯塚康弘展



2024.5/25sat.～6/30sun.
出雲文化伝承館

中学校

卓球部

団体2年連続11回目の優勝!

第20回出雲市オープン卓球選手権大会

時 4月20日
於 出雲市総合体育館

〈団体〉
優勝 出雲北陵A
2位 出雲北陵B
〈シングルス〉

優勝 岡本悠希(中社)

2位 中司良心(中選)

3位 波多間怜偉(中社)、小林麟太郎(中選)

○大会総評

新チームとなって初めての大会であった。一つ一つの大会を大切にしていきたい。

第47回島根県中学生卓球選手権大会

時 5月3日
於 松江総合体育館

〈男子団体〉 2位

決勝 本校 2-1-3 松徳学院

〈男子個人〉

ベスト8 波多間怜偉、松崎優樹(中選)、多田田颯介(中選)

〈男子ダブルス〉

優勝 白根洗太(中選)・中村来哉(中社)

○大会総評

悔しい敗戦となった。夏に向けていい準備をしていきたい。(顧問 相場翔太)

テニス部

中国Jrテニス選手県予選

時 4月27日
於 安来運動公園

〈12歳以下男子シングルス〉2回戦敗退

○大会総評

シード選手相手に敗退したが、経験を積めたことは良かった。次の大会に向けて修正できることを練習して欲しい。

全国中学生テニス選手権県予選

時 5月11日
於 松江総合運動公園

〈男子シングルス〉2回戦敗退

○大会総評

中学入学後の公式戦で初勝利を収めることができた。前日までの練習の成果が発揮できたと思う。2回戦はシード選手に圧倒されたが、どうすればラリーができるかを考え、練習で実践して欲しい。(顧問 石川剛巨)

男子バスケットボール部

広島清流ライオンズクラブ第18回PEACE CUP

時 5月3〜5日
於 中区スポーツセンター
グローバルソフト総合スポーツセンター

〈予選リーグ〉

1回戦 本校 58-34 周東(山口)

2回戦 本校 95-27 観音(広島)

〈決勝トーナメント進出戦〉

1回戦 本校 74-48 益田東

2回戦 本校 66-46 GUARDIAN(広島)

〈決勝トーナメント〉

準決勝 本校 62-50 白岳(広島)

決勝 本校 52-54 島田(山口)

準優勝

○大会総評

決勝戦ではチームとしてやるべきことが徹底できず、前半から相手に主導権を握られ苦しい展開であった。後半巻き返すものの、あと一歩力及ばず、悔しい結果となった。この結果を反省し、ブロック総体に向けて練習に励みたい。(顧問 多々納厚比古)



女子バスケットボール部

第35回SMS CUP中学生バスケットボール交歓大会

時 5月3・4日
於 三朝町総合スポーツセンター
倉吉市立東中学校

〈予選リーグ〉

1試合目 本校 61-40 倉吉西

2試合目 本校 62-52 HIGASHIHATA

〈決勝トーナメント〉

準決勝 本校 39-58 東出雲

3位決定戦 本校 60-76 望海

4位

○大会総評

女子バスケットボール部が3年ぶりに復活し、一年生チームで臨んだ初めての公式戦となった。予選リーグを勝ち上がったことは良かったものの、まだまだ課題が多く練習が必要である。県総体出場に向けて引き続き精進したい。ご声援有難うございました。(顧問 和田拓真)

中学校生徒総会開催

5月9日、生徒総会が行われた。生徒会執行部と各専門委員会の目標と活動内容を発表し、達成したい理想の学校像を共有することができた。今年度の生徒会執行部の目標は「空前絶後」これまでにない生徒会を

「」で、福田光誠生徒会長は全校生徒のけじめを大切にしたい思いを力強く語った。活気あるより良い出雲北陵中学校を作っていくことを期待したい。



中学1年 サン・レイク宿泊研修

時 5月16〜17日
於 島根県立青少年の家
今年度のサン・レイク宿泊研修には27



名の中学1年生が参加した。初日に予定していたカッター訓練は雨と強風のため中止となったため、代替として体育館で「なまづくりゲーム」を行った。どの生徒も非常に生き生きとした表情で活動に取り組んでいた。夕飯ではバーベキューを行い、準備から片付けまで皆で協力することができた。

2日目はレーザークラフト体験を行い、オリジナルのレーザーキーホルダーを制作した。サン・レイク職員の方々には丁寧に指導していただき心より感謝している。この経験が今後の学校生活に生かされることを祈念している。(中学1年担任 村上 学)

授業参観・保護者会総会開催

時 5月1日
於 北陵ホール他

当日は5時間目に授業参観を、また6時間目には保護者研修会を兼ね、出雲警察署交通総務課 田中孝義様による交通事故に遭わないための心構えや交通ルールについての講演を実施した。続いて総会では、昨年度の事業及び決算の報告、今年度の役員選出及び事業計画と予算案の審議がなされ、すべて承認された。

本年度保護者会新役員の皆様は次の通り。

- 会長 和田 正志(3年)
- 副会長 奥田 淳三(3年)
- 副会長 門脇 俊(2年)
- 監事 ロバート・シヴィキング(2年)
- 監事 松原 亮(1年)

作品と研究

「野外活動に参加して」

狩野 汐来(中2)

4月17日、初めての野外活動に参加しました。昨年は天候が悪く中止になりましたが、今年も天候にも恵まれて全学年で野外活動を楽しみました。

出発前は初めての野外活動で、とにかく楽しみでした。新中学一年生の子達と一緒に活動できるので、私はとてもワクワクしていました。歩き始めると、中学一年生の子達が周りに来てくれて「一緒に行く」と誘ってくれました。心の中で仲良くするきっかけを作ってくれて有難うと思いました。目的地の浜山公園につくまでの間でとても仲良くなり、昼食と一緒に食べたり、遊んだりしました。帰るときも一緒に話しながら帰りました。とても楽しく充実した時間になりました。

この野外活動を通して、クラス内だけでなくいろんな学年の人とも交流をし、友好関係が広まって、仲良くなれてうれしかったです。

河野 穂希(高1)

浜山公園までの道のりは、余裕だと思っていました。思っていた以上にかなりきつくて、最後はヘトヘトに疲れてしまいました。初めての活動は、どんなことをするのか不安しかありませんでした。先生の話、体操をしたらもう出発です。歩いてるときはクラスの友だちと話ができ、よい交流ができたと思いました。目的地の浜山公園までは本当に疲れましたが、友達とご飯を一緒に食べ、子ども時代を思い出させてくれる遊具でしっかり遊び、良いひとときになりました。帰りの時間が迫ってくると、皆口数が減りました。そして、何と言っても大量の花粉、強い日差しとの戦いが始まりました。久しぶりに歩いたという感じで本当に疲れました。しかし、学校に到着すると歩ききった達成感を味わえ最高でした。

この活動を通して、人とのコミュニケーションは大切で、苦しいことも乗り越えることができるのを実感しました。来年も、再来年もこの経験を生かして頑張りたいです。

北陵高校から浜山公園まで歩いてみて思ったことが二つあります。

橘 魁翔(高2)

一つ目は歩くことの大変さです。片道8キロ(往復16キロ)片道90分(往復180分)を歩くのはとても大変で暑かったです。花粉や黄砂も飛んでおり、歩くには最悪な環境だったと思います。久しぶりに長距離を歩いたので途中から足が痛くなりましたが、最後まで歩けたので達成感を覚ええました。

二つ目は友達関係の面で成長したと思います。歩いている時やご飯を食べるときはたくさんの人と話さずにはできませんでした。前よりも友情が強くなったと思います。また、先生とも沢山話せたので先生とも仲が深まったと思います。

去年はなかった経験ができて、いろいろな面で成長できたと思います。しかし長距離を歩くのは大変なので、もう来年は・・・という気持ちにもなっています。

林 航太郎(高3)

毎年の恒例行事である野外活動。先生方と全校生徒で浜山公園へ歩いていきました。昨年は皆楽しみにしていたのに、天候に恵まれず中止となり、私達3年生は2年ぶりの活動となりました。最上級生として行う全校行事は今までと違い、楽しむこととの他にルールやマナーを守り、何

事も皆と協力して行うことを意識しました。

この活動はほとんど「歩きによる」移動であり、友達との語らい抜きでは、やり遂げることができない辛さがありました。浜山公園で昼食休憩も帰りの出発時刻が近づくと次々とため息が聞こえ始めました。往復16kmを歩く、3時間歩くなどということとは、おそらくほとんどの人はしないと思います。しかし、歩ききって学校に到着したときにこんなことを思いました。普段、メールばかりで減っていた友達との会話は、この行事を通して新たな一面、素顔に合うことができ貴重な体験となりました。あつという間に過ぎていく高校生活、人とかかわりを大切にして充実したものにしていきたいと思っています。

今月の1枚

「憂鬱」

伊藤 利玖(高3)

